

群馬大学 情報学部

New

社会情報学部 + 理工学部 電子情報理工学科 情報科学コース

学部案内 2021



GUNMA UNIVERSITY

文理融合

データサイエンス教育の拡充



文系、理系の区分なく志願してほしい

情報学部設置準備室長
峯岸 敬 理事(教育・企画担当)

本学では、高度情報化社会の発展と共に、社会のニーズに沿って人材を育成できるように組織の見直しを行ってきました。これまでも人文社会科学から「情報学」にアプローチし、主にコミュニケーション・メディア分野の学問を担ってきた社会情報学部と、情報処理・計算機科学に強く、エレクトロニクスと情報科学の分野における学問を担ってきた理工学部電子情報理工学科情報科学コースにおいて教育・研究を進めてきましたが、この度、それらの特長を融合した文理横断型の「情報学部」を開設することいたしました。

現在の「Society5.0」や知識集約型社会においては、「情報」の収集から「情報」の質の評価の理解が必要になります。本学では、社会の「情報」に対するニーズの増加から、「情報」を扱う倫理的な側面での知識が必要になるなど、両学部の「情報」に関する教育の強み・資源を用い相乗的な効果を期待しつつ、体系的で組織的な教育の提供を行っていきます。

「情報学」というと、歴史的に情報工学科が担当してきたことから工学系のプログラムが多い印象があるかと思いますが、「情報学」は文系や理系にとらわれない諸科学を覆う分野であります。

そこで、本学で用意したカリキュラムは、「人文情報」「社会共創」「データサイエンス」「計算機科学」の4つのプログラムによる専門的学修とあわせて、プログラム間科目履修により文理横断の学修に特色があります。

今後の高度情報化社会から必要とされる、「情報学」を基盤として文系・理系の専門能力と素養を併せ持つ魅力的な人材を養成していきたいと考えていますので、高校における文系と理系の区分けなく、より多くの皆様が志願されることを希望します。

contents

- 4 情報学部が誕生
 - 6 カリキュラム
 - 8 就職支援・進路情報
 - 9 学生インタビュー
 - 10 情報学部の教育ポリシー
- ACCESS・MEDIA ACCESS

※インタビュー学生の学年は取材当時のものです。

情報学部が誕生

群馬大学では、社会情報学部と理工学部電子情報理工学科情報科学コースにおいて実施されてきた教育を統合し、データサイエンス分野の教育も取り入れた「情報学部」を2021年4月に設置します。

情報学部では、科学技術と人間社会の調和が求められる持続可能社会の実現において、情報を基軸とした文理横断型の教育により、Society 5.0を支え、IoT、ビッグデータ、統計的解析手法等のスキルを持ち、人文科学、社会科学、自然科学の知識を有した人材を育成します。



出典: 内閣府HP
(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/) 掲載のものを一部加工して作成

I ～このような人を求めています～

- 1 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある人
- 2 情報学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている人
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている人

II ～このような教育を行います～

- 全学的な協力体制の下、教養教育と専門教育の融合を図り、幅広く深い教養、豊かな知性と感性、総合的な判断力、専門分野の基礎的能力を育成するため、学生の潜在能力を最大限引き出せる教育課程を編成し、実施する。
- 全学部共通の豊かな人間性と広い見識を持つことの重要性を理解し、コミュニケーション能力により国際的に活躍するための基本素養を身に付けるため、人文科学、社会科学、自然科学および外国語教育などの教養教育を行う。
- 4プログラムによる専門教育の基礎となる知識とスキルを身に付けるため、数理・データサイエンスに関する統計学的基礎の教育を行う。
- 文化・社会・倫理的諸問題と社会組織や制度の設計・構築のための基本的知識と統計学・情報技術の基本的スキルを身に付けるための基盤教育を行う。
- 教育プログラムの目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。
- 分野横断の幅広い専門知識の獲得を目指すために、専門教育を補う形で、選択したプログラムとは異なるプログラムの基礎的な科目の教育を行う。
- 全体を統括できるような視点を養い、実社会の課題に対して解決策を提案する能力を養うために、融合型PBL、ゼミナールおよび卒業研究などによりアクティブ・ラーニングを実践する。

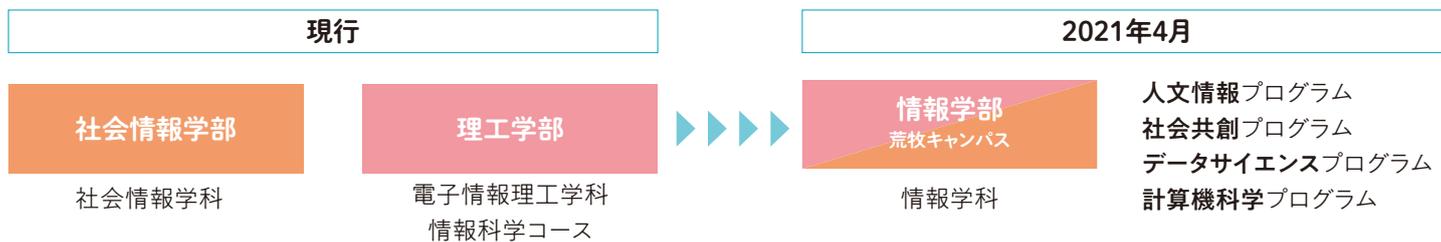
III ～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、以下の資質を身に付けたと認められる者に対して学士(情報学)の学位を授与する。

- 1 現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解し、人間中心社会に向けて社会課題解決に統計学や情報技術を活用することができる。
- 2 データをもとに具体的な社会組織や制度を改良することができる能力を持つ。
- 3 構想される社会目標の達成のためのデータの収集と実証的な検証をする能力を修得し、コミュニケーション能力をもとにデータサイエンスの結果を社会実装することができる。
- 4 人工知能やIoTを含む先端技術の創出と利活用の知識基盤を備えている。

※詳細は、10,11ページをご覧ください。

情報学部の経緯



プログラム概念図

1年次 学部基盤教育

どのプログラムにおいても基軸となる専門能力を養い、プログラム横断型の科目の履修を通じて文理融合による俯瞰力を育成

2年次 希望するプログラムを選択

情報学

融合型PBL・ゼミ(演習)・卒業研究により実践的に活躍できる能力を涵養



人文情報プログラム

言語メディア論

マス・コミュニケーション

ソーシャルメディア

情報社会と倫理

社会的コミュニケーション

養成する人材像

人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供する能力を修得します。

将来のキャリアビジョン

マスコミメディア産業／情報通信関連企業／広報部署／企画・調査部署／公務員／社会起業家 など



社会共創プログラム

情報政治論

情報社会と人権

情報法・行政法

経済学基礎論

政策情報論

養成する人材像

高度情報化によるシステム(制度)の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステム(制度)の構築や方策を提案できる能力を養成します。

将来のキャリアビジョン

公務員／金融機関／情報通信関連企業／企画・営業部門／ファイナンシャルプランナー／証券アナリスト／アクチュアリー／経営コンサルタント など



データサイエンスプログラム

機械学習

確率統計

数理最適化

医療情報学

データベース

養成する人材像

社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用して収集する方法を設計し、集まったデータから、目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

将来のキャリアビジョン

データサイエンティスト／システムエンジニア／情報サービス業・金融業・製造業等のIT関連研究開発者／公務員／アクチュアリー／経営コンサルタント／医療情報技術者 など



計算機科学プログラム

計算機システム

人工知能

ネットワーク

プログラミング言語

アルゴリズム

養成する人材像

計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力をもち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

将来のキャリアビジョン

ITエンジニア／情報通信機器開発者／組み込みシステム設計開発者／システムエンジニア／企業等のIT関連研究者 など

カリキュラム

		1年		2年			
		前期	後期	前期			
教養教育科目	教養基礎科目	学びのリテラシー(1) 英語 スポーツ健康 データサイエンス 就業力	学びのリテラシー(2) 英語 スポーツ健康	英語			
	教養育成科目	人文科学科目群	社会科学科目群	自然科学科目群	健康科学科目群	外国語教養科目群 総合科目群	
専門教育科目	学部基礎教育科目	情報社会基礎論 情報科学入門 情報社会と倫理 微積分学1	線形代数学1 情報メディア基礎論 情報社会と人権	基礎情報処理演習 経済学基礎論 確率統計1 マスメディア基礎論 社会的コミュニケーション基礎論	研究方法基礎論 微積分学2 線形代数学2	プログラミング言語1 離散数学1 地域協働論 経営学入門 文献研究法	実験研究法 地域協働論 経営学入門 文献研究法 実験研究法
	2年次に希望するプログラムを選択	人文情報プログラム科目			集中英語	ソーシャルメディア論 近・現代科学哲学 言語学的コミュニケーション論1 専門外国語1 専門外国語2 マス・コミュニケーション理論	理論社会学 現代倫理学 歴史情報論 異文化コミュニケーション論 社会的コミュニケーション論 映像産業論
		社会共創プログラム科目				憲法1 政策情報論 情報産業基礎論 自然環境論 環境アセスメント 地域社会学1	行政法1 ミクロ経済学 会計学1 民法1 情報法1 環境科学演習
		データサイエンスプログラム科目				確率統計2 数理最適化 プログラミング演習1	確率統計演習 経営科学
		計算機科学プログラム科目				離散数学演習 人工知能 物理学基礎1	
	他プログラム科目	選択したプログラムとは異なるプログラムの科目を履修し、分野横断の幅広い専門知識を獲得する。					
	自由選択科目	学びの視野を広げ、専門性を深めるために、専門教育科目の中から自身の興味・関心に基づき履修する。					
	キャリア教育科目		社会に学ぶ		社会に学ぶ	仕事の現場を知る	

後期	3年		4年
	前期	後期	
英語			
事例研究法 プログラミング言語2 データ構造	アルゴリズム1	情報と職業	
計量文献学 批判的メディアリテラシー 比較社会情報学 対人コミュニケーション論 言語学的コミュニケーション論2 情報社会と人間 現代文化論	心理学的コミュニケーション論 言語メディア論1 非言語コミュニケーション論 社会心理学 芸術表象論	言語メディア論2 身体メディア論	
生物環境論 公共政策論 行政法2 情報社会と私法 マクロ経済学 環境政策 憲法2	民法2 情報法2 会計学2 生活経済政策 経営戦略論 地域社会学2	情報政治論 会計情報 金融論 経営組織論 経営情報論 社会調査実習1 環境法1 環境アセスメント実習1 経済法・知的財産法	環境法2 刑法 企業法 政策分析 地方自治2 社会調査実習2 環境アセスメント実習2 環境政策実習
多変量解析 機械学習 プログラミング演習2 意思決定と社会的選択 医療AI	調査・実験デザイン データエンジニアリング データベース	時系列解析 ゲーム理論 計量経済分析	データマイニング演習 ベイズ統計学 ノンパラメトリック解析 空間統計 シミュレーション 画像処理 医療情報学 学習データ分析
離散数学2 離散数学演習 論理設計 オペレーティングシステム 数理論理学 物理学基礎2	情報科学実験1 ソフトウェア演習1 プログラミング言語3 形式言語とオートマトン	計算機システム 関数型言語 情報理論 コンピュータグラフィックス 回路設計	情報科学実験2 ソフトウェア演習2 プログラミング言語4 アルゴリズム2 デジタルシステム設計 ソフトウェア演習3 ソフトウェア工学 情報ネットワーク ネットワークプログラミング 情報セキュリティ プログラミング言語技術
社会に学ぶ 仕事の現場を知る	社会に学ぶ 融合型PBL セミナール	社会に学ぶ 融合型PBL セミナール	社会に学ぶ 卒業研究

※カリキュラムは、変更になる可能性があります。

就職支援・進路情報

社会情報学部の就職率は**99%**、理工学部電子情報理工学科情報科学コースは**52%**が大学院に進学します。

就活支援スケジュール(予定)

5月	就活スタートアップ講座(3年生・院1年生)
	実践①自己分析講座Part1(3年生・院1年生)
	公務員試験直前対策講座(4年生・院2年生)
6月	公務員試験対策講座(2、3年生・院1年生)
	インターンシップ説明会(2、3年生・院1年生)
	インターンシップ・エントリーシート対策講座(2、3年生・院1年生)
7月	実践②自己分析講座Part2(3年生・院1年生)
	就職活動基礎講座(1年生)
	就活マナー講座(3年生・院1年生)
10月	実践③企業研究講座(3年生・院1年生)
	インターンシップ実習事前講座(2、3年生・院1年生)
	インターンシップ成果報告会(2、3年生・院1年生)
11月	SPI筆記試験対策講座(3年生・院1年生)
	実践④エントリーシート講座Part1(3年生・院1年生)
	実践⑤エントリーシート講座Part2(3年生・院1年生)
12月	公務員基礎知識講座(1、2年生)
	実践⑥面接講座Part1(3年生・院1年生)
	実践⑦面接講座Part2(3年生・院1年生)
1月	就職活動体験発表(2、3年生・院1年生)
	公務員等業務概要説明会(1、2、3年生・院1年生)
	荒牧地区合同企業説明会(荒牧地区業界研究セミナー)(1、2、3年生・院1年生)
2月	就職活動直前講座(3年生・院1年生)
3月	都内開催での合同企業説明会参加に伴う輸送支援(1、2、3年生・院1年生)

キャリアサポート体制

キャリアサポート室

キャリアサポート室は、学生一人ひとりの適性にあった進路決定ができるよう就職活動の支援を行っています。

具体的には、1年次より学年に応じて、キャリア計画、キャリア設計をはじめとする学修意欲の向上を図り、インターンシップにおいては、社会的に必要な能力や実践的な能力の育成、希望する企業等へのマッチング及び申請支援、実施に関する事前説明会、実習講座及びマナー教育並びに実習後の在学学生への体験報告会等を実施しています。

キャリアサポート室では、各企業からの求人票・会社案内、先輩方の就職活動報告書、就職関連図書の貸出し・閲覧などができます。また、公務員用受験案内についても取り揃えています。

(企業、官公庁などパンフレット約3,000件)

キャリアカウンセリング

就職の相談に応じるため、キャリアカウンセラーが配置されています。キャリアカウンセラーは、就職だけでなく生涯設計を踏まえての幅広い相談に応じることができる専門家です。是非、気軽に相談をしてください。

特徴ある就職支援セミナー

毎年、外部から講師を招き公務員試験対策セミナーを開催しています。過去問を中心にした実践的な内容で、例年は10月から12月にかけて全18回開催しています。公務員を目指そうとする人は早めの心構えが必要です。早くからこうしたセミナーに参加しておくのがおすすめです。

主な就職先

社会情報学部

理工学部電子情報理工学科情報科学コース (修士含む)

●食料品・飲料・飼料製造業

柏屋

●印刷・関連業

朝日印刷工業、ジャパンプリント

●化学工業、石油・石炭製品製造業

電舞プラスチック

●鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業

岡部工業、天龍製鋸、岡部工業

●はん用・生産用・業務用機械器具製造業

岡本工作機械製作所、会津オリンパス

●電子部品・デバイス・電子回路製造業

太陽誘電、太陽誘電、日放電子

●電気・情報通信機械器具製造業

セイコーエプソン、キヤノン、沖データ、東芝インフラシステムズ、セイコーエプソン、日本電気、東芝キャリア

●輸送用機械器具製造業

小倉クラッチ、本田技研工業、スズキ

●電気・ガス・熱供給・水道業

東京ガスファーストエナジー

●情報通信業

アウトソーシングデザイナー、アスネット、アルカディアソフト開発、NTTデータNJK、NTTデータ・イントラマート、群馬農協電算センター、コ

ンピューtron、CIJ、ジー・エス・ディー、システックス、システム・アルファ、ソリマチ、高崎共同計算センター、ティー・アイ・シー、トッパン・フォームズ・オペレーション、日本キャスト、日本ネットワークサービス、日本郵政、ネクスタム、ネクストワン、ハートソフト、ハイエレコン、パスカル・パワーフューチャー、東日本技術研究所、ヒューマンキャピタル、プログデンス、モスキート、リード、両毛システムズ、ジーシーシー、OKIソフトウェア、JR東日本情報システム、日立ハイテクファイナシステムズ、Sky、東芝デジタルソリューションズ、両毛システムズ、アシスト、ルネサスエレクトロニクス、メイテック、キーウオーカー、NTTデータアイ、日本アイ・ピー・エム ISC-J、アクセンチュア、ダウンゴ、SHIFT、ミクシィ、オー・エス・ティ、NTT東日本グループ<エンジニア>、神田通信機、中央コンピュータシステム、アクティス・ジャパン、クライム、サンダーバード、ドコモCS、富士ソフト

●卸売業

ゲストリスト、柴田屋酒店、リコージャパン

●小売業

あさひ、NHC、ジーネクスト、メガネフラワー

●金融業

桐生信用金庫、群馬銀行

●保険業

アネックスライフ、第一生命保険、東京海上日動火災保険、日本コープ共済生活協同組合連合会

●不動産業・物品賃貸

東電用地

●学術研究 専門・技術サービス業

インターワークス、エン・ジャパン、セイファート、フットセラピー、フレックス、フロンティア インターナショナル

●宿泊業・飲食サービス業

ホテル松本楼

●生活関連サービス業・娯楽業

メッセ、プロトコーポレーション、セガ・インタラクティブ、エフエム仙台

●教育・学習支援業

群馬大学

●医療・福祉業

太田総合病院

●複合サービス

邑楽館林農業協同組合、群馬県信用保証協会、全国農業協同組合連合会群馬県本部、前橋市農業協同組合、山形県農業共済組合

●その他・サービス業

エイム、ディップ、マーキュリー、アルプス技研

●国家公務員

国土交通省

●地方公務員

足利市、安中市、宇都宮市、太田市、神川町、甘楽町、桐生市、群馬県、群馬県(警察事務)、群馬県警察、桜川市、大仙市、高崎市、館林市、廿日市市、福島県、北海道、前橋市、前橋市

■ 学生インタビュー



“情報”を“研究”するのが今楽しいです

工学部電子情報理工学科情報科学コース
4年 川崎 翔太郎 静岡県立磐田南高校出身

高校生の頃から“情報”というキーワードに興味がありました。具体的には決めていませんでしたが、将来はプログラマーなど情報を扱う職業に就きたいな、という漠然とした思いがあり、入学後に情報科学コースを選択しました。現在は主に「ネットワークの表現学習」というテーマで研究を進めています。この研究が社会にどのように活かされていくのかまだ明確なものが見えているわけではないのですが、世の中のあらゆるモノ・コトの特徴を数値化することの可能性は無限大だと思います。

大学での学びは高校までと違って自由があるのがうれしいです。ひとくちに“情報”を学びたいと言っても、理数系のジャンルだけでなく法務のような文系の知識も必要になってくるのだと思いますが、群馬大学では興味のある授業を比較的幅広く選択できます。おもしろそうだと感じた授業は自分の目で見て、聞いて確かめてみないと気が済まない性格なので、1年生の頃から積極的に色々な授業を選択しています。

大学は、自由や個性が尊重される場所です。これから受験をする皆さんにも周りに合わせたりせずに、自分のやりたいことや好きなことを貫いて欲しいな、と思います。群馬大学ならきっとそれが見つかります。



パソコン漬けの充実した毎日

大学院理工学府博士前期課程1年（工学部電子情報理工学科情報科学コース卒）
樋口 詩乃 東京都立竹早高校出身

入口はメディアアートでした。「Perfume」のファンだったんです。最先端のテクノロジーを駆使した演出に魅了されたことがきっかけで情報科学とメディアに係わりたと思いました。その夢に近い学びができそうな学科を探し、群馬大学に出会いました。実は高校時代は、園芸という今と全く違う世界に憧れていて、大学に入るまでプログラミングなどの知識や経験は全くありませんでした。学科は情報科学分野全般を学ぶ場なので、それをアートにどう落とし込むかは自分次第です。現在私の所属する奥研究室は「光学系システムを使った広範囲かつ高速に動く対象への動的プロジェクションマッピングの手法について」という研究をしていて、先生からも様々なアドバイスをいただいています。1年生の時には、友だちが立ち上げたプログラミングのサークルに所属して資格取得の勉強をしたり、競技プログラミングの大会などへの出場も果たしました。

さらに、個人の活動として、自分の視野を広げるためにVRやARなどに関するコミュニティイベントなどに積極的に出かけています。インターンシップもXRに係わる企業で行いました。また、数学やアルゴリズムで美しい映像を創る方法も勉強しています。作った映像をSNSやイベントで発信するような機会も持っているため、これからもメディアアートの世界を追求してゆきたいです。

情報学部の教育ポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

全学のアドミッション・ポリシーに則り、本学部では、以下のアドミッション・ポリシーを定め、入学者選抜試験を実施する。

（入学者に求める能力・資質）

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求める。

1. 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
2. 情報学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
3. 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
4. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
5. 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
6. 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

4つの教育プログラムのうち、人文情報プログラムあるいは社会共創プログラムを選択しようとする者は、外国語能力の向上と多文化の理解に関心があることが望まれる。また、データサイエンスプログラムあるいは計算機科学プログラムを選択しようとする者は、自然科学、中でも数学を基礎とする分野に強い探求心を持っていることが望まれる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

全学的な協力体制の下、教養教育と専門教育の融合を図り、幅広く深い教養、豊かな知性と感性、総合的な判断力、専門分野の基礎的能力を育成するため、学生の潜在能力を最大限引き出せる教育課程を編成し、実施する。

また、全学のディプロマ・ポリシーの専門的学識・能力に対応して、次の方針に従って教育課程を教育プログラムとして体系的に編成し、実施する。

初年次は、人文科学、社会科学、自然科学および外国語教育などの教養科目により、全学部共通の豊かな人間性と広い見識を持つことの重要性を理解し、コミュニケーション能力により国際的に活躍するための基本素養を身に付ける。また、数理・データサイエンスに関しても統計学的基礎を身に付けて、その後の4プログラムの学習の基礎となる知識とスキルを身に付ける。4プログラムのそれぞれの特徴を理解し、2年目から各プログラムの専門性を重視した教育を行うため、学部基盤共通科目として文化・社会・倫理的諸問題と社会組織や制度の設計・構築のための基本的知識と統計学・情報技術の基本的スキルを身に付ける。

2年次以降は、教育プログラムの目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。また、この専門教育を補う形で、選択したプログラムとは異なるプログラムの基礎的な科目の教育を行い、分野横断の幅広い専門知識の獲得を目指す。

3年次以降は主に融合型PBL、ゼミナールおよび卒業研究などによりアクティブ・ラーニングを実践する。

なお、4つの教育プログラムにおいて、それぞれ次のような教育を行うことで、高度情報化社会において情報を基軸としてあらゆる分野で活躍するための専門能力を修得する。

人文情報プログラム

ソーシャルメディア論、コミュニケーション論、理論社会学、社会心理学、言語メディア論などを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解させる教育を実施する。これにより、人間中心社会の構想を提示できる人材を育てる教育を展開する。

社会共創プログラム

政策情報論、情報政治論、情報法、環境法、経営組織論などを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、情報技術を用いた社会組織や制度を設計し、構築する能力を身に付ける教育を実施する。これにより、設計し、構築した社会組織や制度を、グローバルに実現し得る人材を育てる教育を展開する。

データサイエンスプログラム

統計学、機械学習、数理最適化、データマイニング、シミュレーションなどを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、課題に対して適切なデータの収集能力・分析能力を身に付ける教育を実施する。これにより、その課題を数理的に定式化し、解決策の導出ができる人材を育てる教育を展開する。

計算機科学プログラム

計算機システム、情報ネットワーク、オペレーティングシステム、画像処理など情報科学の基礎理論から応用技術までを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、情報科学に関連した幅広い基礎知識を身に付ける教育を実施する。これにより、課題解決のための論理的思考に基づいた応用力と倫理観を備え、科学技術の発展にグローバルに貢献できる人材を育てる教育を展開する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

本学部では、全学のディプロマ・ポリシーを踏まえた上で、全学教養教育科目、本学部で定めた必修科目、選択科目、PBL科目、ゼミナール、卒業研究の合計124単位以上を取得し、専門的学識、技能に関して、以下の資質を身に付けたと認められる者に対して学士（情報学）の学位を授与する。

情報学部における学修成果の目標

- ①現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解し、人間中心社会に向けて社会課題解決に統計学や情報技術を活用することができる。
 - ②データをもとに具体的な社会組織や制度を改良することができる能力を持つ。
 - ③構想される社会目標の達成のためのデータの収集と実証的な検証をする能力を修得する。コミュニケーション能力をもとにデータサイエンスの結果を社会実装することができる。
 - ④人工知能やIoTを含む先端技術の創出と利活用の知識基盤を備えている。
- さらに、各プログラムにおいては以下の専門的学識や能力を修得していることを目標とする。

人文情報プログラムのディプロマ・ポリシー

現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解し、人間中心社会の構想を提示する能力を修得することを目的とする。具体的には、

- ・人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得する。
- ・高度情報化社会における課題解決のための実践的理念を提供する能力を修得する。

社会共創プログラムのディプロマ・ポリシー

持続可能な包摂型社会の実現に向けた課題解決を、具体的な社会組織や制度の設計・構築と検証によって図ることができる能力を修得することを目的とする。具体的には、

- ・高度情報化によるシステム（制度）の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見する能力を修得する。
- ・社会的課題の解決及び社会目標の達成のためのシステム（制度）の構築や方策を提案できる能力を修得する。

データサイエンスプログラムのディプロマ・ポリシー

社会的課題に関わるデータの適切な収集、その科学的分析による問題の定式化・解決策を提示する能力を修得することを目標とする。具体的には、

- ・社会的課題の実証的定式化と数理最適化による解決策を提示する能力を修得する。
- ・構想される社会目標の達成のためのデータの収集と実証的な検証をする能力を修得する。

計算機科学プログラムのディプロマ・ポリシー

計算機を利用するための基礎知識を身に付け、論理的思考により科学、工学に関する問題に応用する能力を修得することを目標にする。具体的には、

- ・計算や情報を視点とした情報科学の数学理論を身に付け、応用する能力を修得する。
- ・計算機の構造と原理、計算機による効率的な計算の方法及び計算機システムの基礎知識を身に付け、それらに関する技術を開発する能力を修得する。
- ・計算機に推論や認識などの知的機能を実現するための理論を身に付け、その技術を開発する能力を修得する。

ACCESS 荒牧キャンパスまでのアクセス

JR両毛線、前橋駅下車 所要時間 25分

- 関越交通バス (渋川・小児医療センター行きまたは 群馬大学荒牧行き)
JR前橋駅 北口2番 乗り場
「群馬大学荒牧」または「前橋自動車教習所前」下車

JR上越線、渋川駅下車 所要時間 30分

- 関越交通バス(前橋駅行き)
JR渋川駅 1番乗り場
「群馬大学荒牧」または「前橋自動車教習所前」下車



Open Campus 2020

全学部オープンキャンパス(web)
『GU'DAY 2020』公開中!

MEDIA ACCESS



群馬大学
全学HP



WEB版
パンフレット



LINE



Twitter



Instagram



Facebook



YouTube



お問い合わせ 情報学部(現・社会情報学部)
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 TEL : 027-220-7402